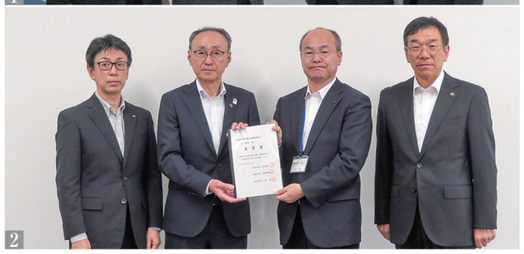
伊達崎橋の早期復旧に向けて 県へ要望書を提出

令和4年3月の福島県沖地震により被災した伊達崎橋は、現在も大型車の通行規制を余儀なくされています。国および県は、今年4月16日に復旧方針を発表し、上部工の架け替えや新たな歩道整備を行うことなどを示しました。

伊達崎橋は、周辺住民の通勤・通学利用のほか、広域的に利用される重要な拠点であることから、髙橋町長および須田博行伊達市長、引地真国見町長らは5月30日、県庁と県北建設事務所を訪問し、早期工事着手や工事期間中の交通確保などについてまとめた要望書を提出しました。



1_（左から）須田伊達市長、矢澤敏幸県土木部長、髙橋町長、引地国見町長　2_（左から）引地国見町長、髙橋町長、吉田伸明県北建設事務所長、須田伊達市長

ごみ減量化を目指して 町廃棄物減量等推進協議会始動

ごみ減量推進に向けて、効果的な手法を講じていくために、今年度新たに設置した「桑折町廃棄物減量等推進協議会」の第1回会議が5月27日、役場で行われました。

会議では、委嘱状交付が行われ、会長に佐藤久仁夫さん、副会長に島貫弘子さんを選出。町のごみの現状やこれまでの取り組み、ごみステーションの管理、ごみ出しマナーの向上などについて、意見交換や各種団体の取組事例を発表しました。今後も協議を重ね、町民や関係団体、町が一体となり、持続可能な社会を目指します。

▲ごみ減量化に向け、官民一体となりさまざまな活動に取り組むため、意見交換を行う委員の皆さん

広　告

統計調査にご協力ください 町統計調査員協議会総会

町統計調査員協議会総会が5月20日、イコーゼで開かれ、今年度の調査の説明や役員改選が行われました。

今年は、5年に1度の一斉改選の年で、新会長に、渡邉俊行さん（伊達崎地区）が就任。渡邉会長は「各種調査がスムーズに実施できるよう尽力したい」と挨拶しました。

今年度は、農林業センサス、令和7年度は、国勢調査と2年連続で大規模な統計調査が実施されます。調査実施の際は、町民の皆さんの統計調査へのご理解とご協力をお願いします。

▶来賓祝辞を述べる髙橋町長と統計調査員の皆さん

気軽に健康チェック 半田山deヘルスアップ

「はかる」ことで、自分の体に関心を持ち、健康づくりへつなげていこうと、「半田山deヘルスアップ」が5月26日、半田山山開き会場で行われました。当日は、推定野菜摂取量が分かるベジチェックと血管年齢測定を行い、延べ約200人が参加しました。ベジチェックでは、目標値の1日350グラムをクリアした人に、町内飲食店食事券をプレゼント。参加者らは、測定値に一喜一憂しながら、楽しく健康意識を高めました。

▶手のひらや指を測定器にのせ、体の状態をチェックする参加者

税金の大切さを実感 小学校租税教室

税金の大切さについて学ぶ租税教室が6月5日、半田醸芳小学校で行われました。町税務住民課職員が講師を務め、アニメやクイズなどを通して、6年生18人に税金の重要性を説明しました。職員が「児童1人あたり、年間約100万円の税金が使われています」と紹介すると、児童らは「普段の生活や学校生活も多くの税金で支えられていることが分かった」「安心して暮らすために納税は大切だと実感した」などと思いを新たにしました。

▶約10kgある1億円のレプリカを持ち上げ、お金の重さを体感

広　告